

一般社団法人鎌倉ラグビースクール
安全運営方針・協会報告及び保険申請手順【Ver2】

本マニュアルは、鎌倉ラグビースクール（以下、KRS）の安全運営方針に附属する協会報告及び保険申請手順である。

1. 適用

KRS コーチ及び生徒の傷害発生時の報告及び事務手続きについて適用する。

2. 傷害発生時の事務手続き

(1) 日本ラグビーフットボール協会（以下、日本協会）の関連ホームページURL

1) 安全対策	https://www.jrfuplayerwelfare.com/
2) 傷害への対応（申請書等）	https://www.jrfuplayerwelfare.com/障害への対応-申請書等/
3) 申請書一覧	https://www.rugby-japan.jp/future/documents
4) 登録者見舞金制度について	https://www.rugby-japan.jp/future/documents/mimaikin

(2) 日本協会の安全対策制度

全体像は以下の通り。（2020年安全・インテグリティ推進講習会資料より）

JRFU **BIG TRY**

協会の安全対策の制度

(重症傷害報告、脳振盪報告、HIA、見舞金制度)

- 傷害見舞金制度**
 登録されているプレーヤー及びチーム関係者に「見舞金給付表に該当する傷害」が発生した場合、チームの代表者は「傷害報告書1（見舞金請求書）、傷害報告書2」に必要事項を記入の上、30日以内に都道府県協会に提出する。
<https://www.rugby-japan.jp/future/documents/mimaikin/>
- 重症傷害報告**
 事故発生後、3日以内に都道府県協会に報告する。不明の点は後日判明次第報告のこと。死亡以外の重症傷害については、第一回目の報告後、2カ月後と6カ月後にその後の病状を報告する。
<https://www.rugby-japan.jp/future/documents/serious/>
- 脳振盪報告**
 「脳振盪／脳振盪の疑い報告書」はチーム責任者・担当レフリー・マッチドクターに義務づけられ、各々が報告書を提出することになっている。提出先は、大会であれば大会本部か主管する実行委員会、または支部協会。高校生の場合は都道府県高体連ラグビー専門委員長となる。
<https://www.rugby-japan.jp/future/documents/>
- HIA(Head Injury Assessment)**
 脳振盪の疑いのある選手を一時退出させ、HIAの専門的な講習を受けたマッチドクター、チームドクターにより脳振盪を確認する。評価に充てる時間は最大12分間で、その間は一時交替の選手が出場可能。脳振盪ではないと判断された場合には試合に戻る事ができる。(トップレベルの試合で適用)
<http://www.top-league.jp/2016/07/11/id35311/>

27 2020 安全・インテグリティ推進講習会

※スクールの試合では「HIA」は無し。

(3) 傷害発生時の事務手続き

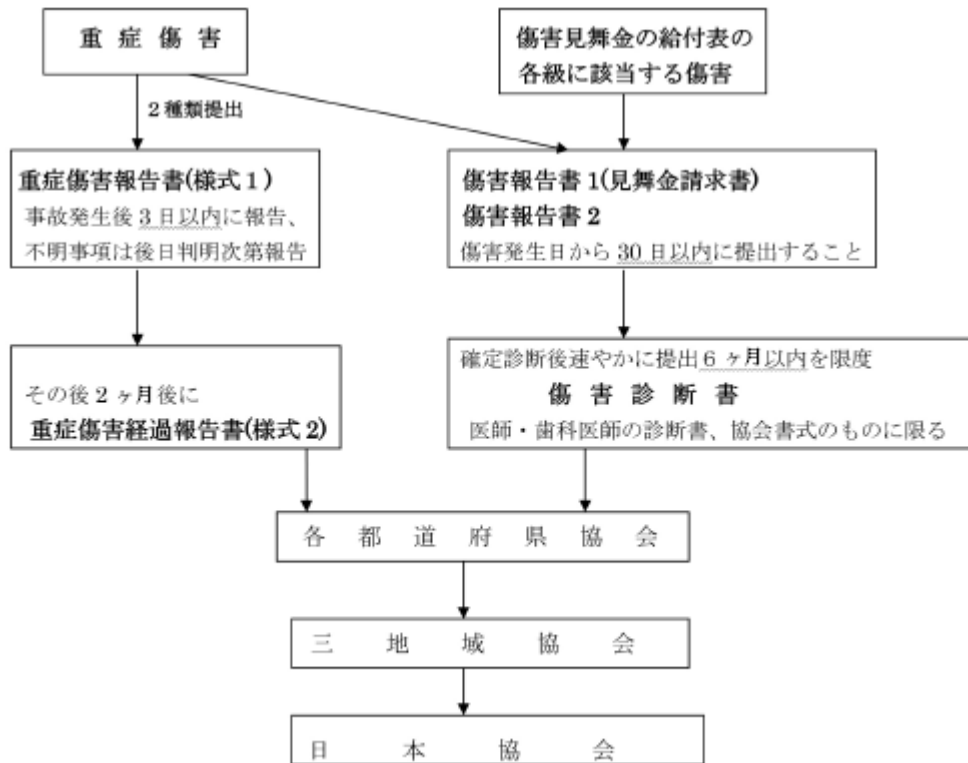
日本協会発行 <https://www.rugby-japan.jp/future/documents/>

傷害発生時の事務手続き

試合もしくは練習中に重症傷害事故が発生した場合、各チームは次の手順で重症傷害報告を所属都道府県協会に提出しなければならない。

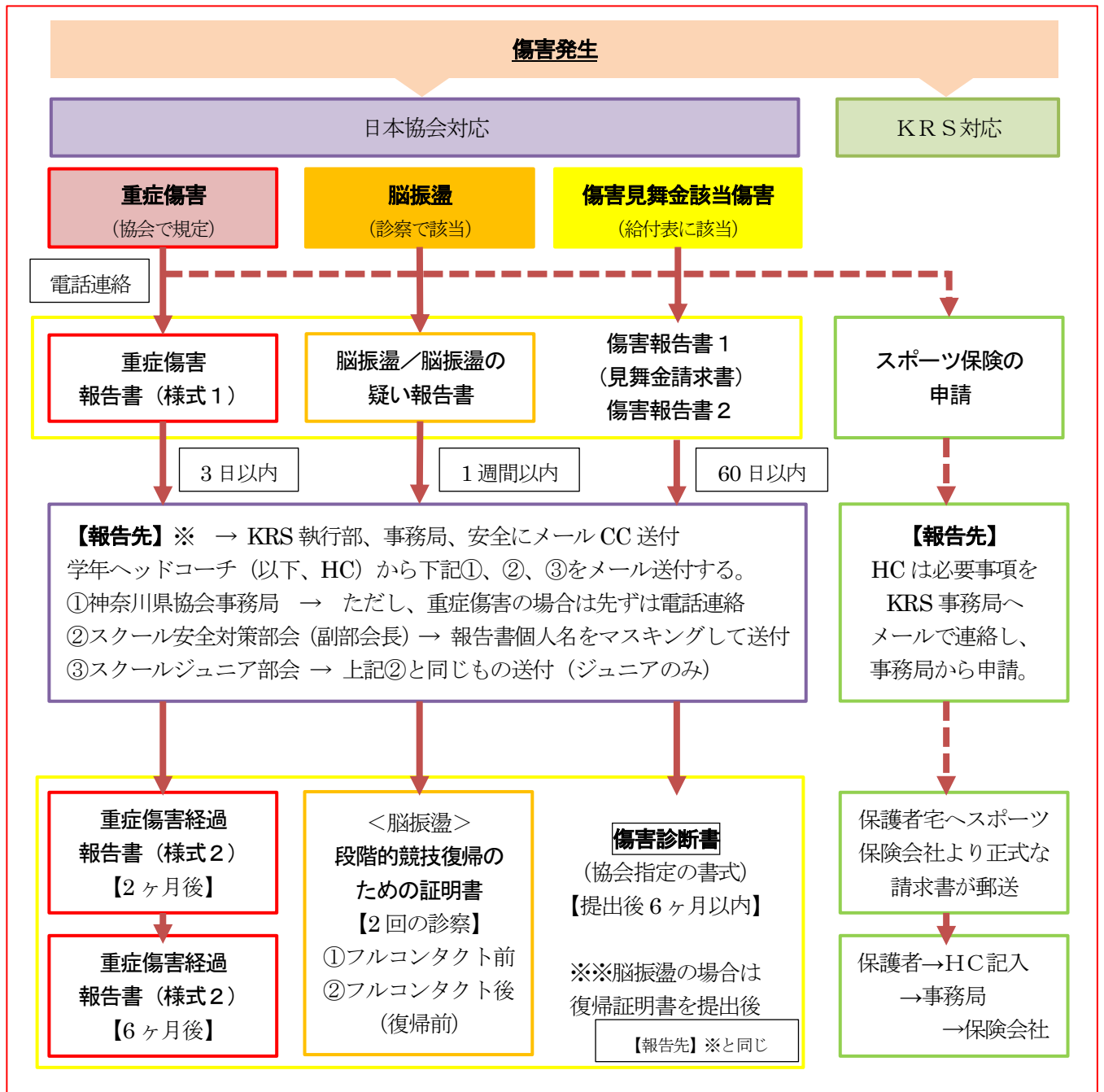
- ① 所属都道府県協会に、ただちに電話で連絡。
 - ② 重症傷害報告書 様式(1)を事故後3日以内に提出。
不明事項は、後日判明次第報告すること。
 - ③ 重症傷害経過報告書 様式(2)を事故発生から2ヶ月後に掲出。
- * 上記、重症傷害経過報告書 様式(2)を提出後、手術の経過、症状、その後の経過等を6ヶ月後に報告すること。またそれ以降も症状が改善されない場合は1年毎に報告すること。
 - * 死亡に至った場合には、「死亡診断書」または「死体検案書」を添付すること。

(下図のフローチャート参照)



(4) KRS・傷害発生時の手続きフロー及び一覧表

1) 日本協会フローをベースに、KRSの手続きフローを以下に示す。



【注意 (KRS コメント)】

- 1) 傷害見舞金を請求するための「傷害報告書1」及び「傷害報告書2」は必ず提出。(以下、傷害報告書)つまり、重症傷害や脳振盪の場合のみ、「傷害報告書」にプラスして、それぞれの報告書の提出が規定されている。
- 2) 「傷害報告書」は見舞金請求の申請と兼用となっている。
- 3) 「重症傷害」に該当する場合は「重症傷害報告書(様式1)」も合わせて提出。(傷害報告書+重症)
- 4) 「脳振盪」の場合は「脳振盪/脳振盪の疑い報告書」も合わせて提出。(傷害報告書+脳振盪)
- 5) KRSでは「脳振盪」により医療機関で受診した場合は、「脳振盪/脳振盪の疑い報告書」の提出を規定する。
- 6) 「脳振盪/脳振盪の疑い報告書」の提出期限は規定されていないが、KRS規定で1週間以内とする。
- 7) すべての場合で「傷害診断書」を提出すること。なお、「脳振盪」の場合は、「傷害診断書」提出時に「脳振盪/脳振盪の疑い報告書」及び「復帰証明書」の提出日を記入することになっている。

8) 一覧表にすると以下の通り。

		傷害発生			KRS 対応
		日本協会対応			
タイミング	報告書	重症傷害	脳振盪/ 脳振盪の疑い	傷害見舞金 該当傷害	←どのケースでも 申請する
受傷時	重症傷害 様式1・2	●			KRS 事務局に メールで 必要事項を 連絡
	脳振盪/ 脳振盪の疑い		●		
	傷害報告書 1・2			● ※傷害報告書が兼用	
見舞金請求	傷害報告書	●	●		
復帰・経過	段階的復帰 証明書		●		
	重症経過 報告書 (2ヶ月) (6ヶ月)	●			
診断 報告	傷害 診断書	●	●	●	

傷害の区分	傷害の内容
重症傷害	【日本協会規定】 ①頭蓋骨骨折の有無に関係なく 24 時間以上の意識喪失を伴う障害 ②四肢の麻痺の伴う脊髄損傷 ③死亡 ④開頭および脊椎の手術を要したもの ⑤胸・腹部臓器で手術を要したもの ⑥ ①～⑤のほか診断書で重症と思われるもの
脳振盪/脳振盪の疑い	【KRS 規定】 医療機関で受診した時点で該当
傷害見舞金該当傷害	【日本協会規定】 ①「A 頭部外傷」～「T 死亡例」まで有り ②主に脳振盪（脳振盪の疑い含む）、骨折、靭帯損傷、歯の損傷など

報告書等	提出期限
重症傷害報告書	①即、神奈川県協会事務局に電話連絡 ②3 日以内の報告書提出
脳振盪/脳振盪の疑い 報告書	【KRS 規定】 1 週間以内
傷害報告書 (報告書1・報告書2)	60 日以内
重症傷害経過報告書	①2 ヶ月後 ②6 ヶ月後
段階的競技 復帰のための証明書	①フルコンタクト前 ②フルコンタクト後（復帰前）
傷害診断書	6 ヶ月以内

3. 提出書類の整理

(1) 神奈川県ラグビーフットボール協会への提出書類

ヘッドコーチは下記書類を協会へ提出する。一旦メール送付し、後日書類の控えを取り郵送すること。なお、メール送付する際に KRS 執行部及び事務局、安全担当者へ同報送信する。

1) 傷害見舞金の給付表の各級に相当する傷害【見舞金の請求】

報告書	提出期限	KRS コメント
①傷害報告書1 (見舞金請求書)	傷害発生日から 30日以内	<ul style="list-style-type: none"> ・30日以内に提出しないと見舞金の請求ができない。 ・見舞金の送金先は KRS 口座。
②傷害報告書2 (受傷機転が「スクラム」もしくは「タックル」の場合に必要)		
③傷害診断書	確定診断後速やかに提出 6か月以内限度	医師の押印が必要。

2) 重症傷害の報告(見舞金の請求は上記1)の通り)

報告書	提出期限	KRS コメント
①重症傷害報告書 (様式1)	事故発生日後 3日以内	先ずはこの報告を行うこと。
②重症報告傷害報告経過報告書 (様式2)	その後 2ヶ月後及び6ヶ月後 に報告。 6か月で症状が改善されない場合は1年毎に報告する。	2回報告を行うこと。
③傷害診断書	確定診断後速やかに提出 6ヶ月以内限度	

3) 脳振盪の報告(見舞金の請求は上記1)の通り)

報告書	提出期限	KRS コメント
①脳振盪/脳振盪の疑い報告書	事故発生日後 3日以内	先ずはこの報告を行うこと。
②段階的競技復帰のための証明書 【競技者が中学生以下の場合】	①フルコンタクト前の診察 (受傷日から21日目以降) ②フルコンタクト後(競技復帰前)の診察	医師の診察及び証明が2回必要。
③傷害診断書	確定診断後速やかに提出 6か月以内限度	

4) 神奈川県ラグビーフットボール協会事務局の連絡先(2020年11月現在)

- ①電話：045-504-7607
- ②メール：info@rugby-kanagawa.jp
- ③報告書の送付は一旦、PDFファイルでメール送付し、後日郵送すること。

(2) スクール安全対策部会及びジュニア部会への報告

- 1) 上記(1)で神奈川県協会事務局へ報告した報告書の控えを送付する。
- 2) 送付する際には、個人情報保護の観点から以下の項目についてはマスキングして送付すること。
 - ①チーム代表者の住所、氏名、送金先
 - ②JRFU 共通個人ID、氏名
 - ③レフリー及びドクターの氏名
- 3) スクール安全対策部へ送付
送付先：安全対策副部長宛へ送付する。メールアドレス等は KRS 安全対策部担当者へ確認する。
- 4) 「ジュニア」についてはジュニア部会へ送付
送付先：都度、KRS ジュニア部会担当者へ確認すること。

5) KRS への同報

上記3) 及び4) の報告の際、KRS 執行部及び事務局、安全担当者へ同報送信する。

6) 報告例

別添にスクール安全対策部会（ジュニア部会）への報告例を示す。

(3) 見舞金のフロー

- ①見舞金の送金先は KRS 銀行口座となっている。KRS 会計担当者は日本協会からの入金を確認次第、ヘッドコーチへ連絡する。
- ②ヘッドコーチは保護者に振込先を確認し、KRS 会計担当者へ連絡し振込を依頼する。

(4) KRS・スポーツ保険の請求

KRS が加入しているスポーツ保険の請求手続きは以下の通り。

- ①ヘッドコーチまたはコーチは保護者に対し下記メモの記入を依頼する。

ケガをされた方：	
	(フリガナ)
	氏名 (加入時の年齢)
加入依頼番号	事務局記載
入金日	事務局記載
加入区分	事務局記載
住所 〒	
電話番号 (自宅)	
昼間の連絡先	
事故の年月日 時間	
活動区分団体活動中：活動中	
事故の場所	
事故の詳細状況：	
ケガの部位：	
ケガの種類 (傷病名)：	
治療日数 (見込み) 入院	日 通院 日
固定具	
医療機関名	

- ②ヘッドコーチは保護者が記入したメモを事務局スポーツ保険担当者へ回付する。
- ③事務局スポーツ保険担当者はインターネットで請求申請する。
- ④保護者の自宅へスポーツ保険会社より、正式な請求書が郵送される。保護者は必要事項を記入しヘッドコーチへ提出する。
- ⑤ヘッドコーチは事務局スポーツ保険担当者へ書類を提出する。
- ⑥事務局スポーツ保険担当者は KRS で必要事項を記入し、書類を郵送する。
- ⑦保護者が指定した銀行口座へ保険金が振り込まれる。

以上

・初版 2018年4月15日

・改訂 2020年12月20日

①日本協会の関連ホームページURLを追加。

②KRS フロー等を追加。

③報告の注意事項を追加。

④「脳振盪／脳振盪の疑い報告書」を追加。

⑤スクール安全対策部会及びジュニア部会への報告を修正。

⑥「傷害報告書1（見舞金請求書）」及び「脳振盪／脳振盪の疑い報告書」の報告例を追加。

スクール安全対策部会（ジュニア部会）への報告例

【傷害報告書1（見舞金請求書）】の例

傷害報告書1 (見舞金請求書)					
受付番号					
チーム代表者	住所	提出日	2020年10月13日		
氏名		都道府県協会	三船城協会	日本協会	
送金先	金融機関	受付日	受付日	受付日	
	口座名	協会			
	(フリガナ) 口座名義				
団体登録番号	1402005	団体名	川崎市ラグビースクール中1		
JRFU共通個人ID			13歳		
傷害内容 または傷病名	脳振盪				
傷害発生年月日	2020年	9月	27日	傷害発生時刻	12時頃
傷害発生状況	3	1.試合 2.練習試合 3.練習 4.その他	受傷時の試合時刻	1.前半 2.後半	受傷機転 3
<small>(その時の状況を具体的に)書ききれない場合には、裏面に記入して下さい。</small> 試合開始のA&Dをしていて、ボールを奪って走っていたときに後ろに打たれた時、後ろからタックルされ、前方に倒れ、頭を打つ負傷 <small>(例) 左にパスをしようとしたところ右前方より右大腿部にタックルされ、倒れた上を乗り越えられた時に右膝を負傷した。</small>					
試合名		片数		1.公式 2.非公式	
マウスガード	1.装着(カスタムメイド) 2.装着(市販品) 3.非装着	コンタクトレンズ	1.装着 2.非装着	ヘッドギア	1.装着 2.非装着
受傷時のポジション	13	1.左プロップ 2.フッカー 3.右プロップ 4.左ロック 5.右ロック 6.左フランカー 7.右フランカー 8.NO8 9.スクラムハーフ 10.スタンダオフ 11.左ウイング 12.左センター 13.右センター 14.右ウイング 15.フルバック 16.未定			
天候	2	1.晴れ 2.曇り 3.雨 4.雪	1.1日役前 2.1日役後	グラウンドの状態	1.正 2.土 3.その他
レフリー	1.在 2.不在	資格	1.有り 2.無し	氏名	
傷害時処置	2	1.レフリー 2.監督・コーチ・指導責任者 3.医師 4.その他	処置の内容	コチが寝た状態になり、阪水着い等みれば更紗と打たれる。電目、打たれると23の25分	
体重	50 kg	身長	154 cm	胸囲	
				腕囲	
				腰囲	
				座高	
既往症	脳しんとう	頭蓋内損傷	頸部(重)損傷	腕部損傷	四肢骨折
				膝関節損傷	日射病
				高血圧	心臓疾患
				糖尿病	糖尿病
審査年月日					

※受傷機転が「スクラム」もしくは「タックル」の場合は「傷害報告書2」も必要

脳振盪／脳振盪の疑い報告書

報告日 2020 年 10 月 13 日

報告者氏名 _____

チーム責任者 _____

受傷者 (選択肢があるものには√/○をつける) 後藤

氏名				13 歳
性別 <input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	チーム名	<input type="checkbox"/> 15人制 <input checked="" type="checkbox"/> 7人制	ポジション	
カテゴリー <input checked="" type="checkbox"/> スクール <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生 <input type="checkbox"/> 高専生 <input type="checkbox"/> 大学生 <input type="checkbox"/> 社会人 (含むトップリーグ) <input type="checkbox"/> クラブ	川崎市ラグビースクール			センター・ウィング
	/ 学年			年生

受傷の状況 (選択肢があるものには√/○をつける)

発生日	<u>2020</u> 年 <u>9</u> 月 <u>27</u> 日	場所	<u>セシリア学園 G</u>	<input type="checkbox"/> 試合中 <input checked="" type="checkbox"/> 練習中
受傷時のプレー	<input type="checkbox"/> タックルをした <input checked="" type="checkbox"/> タックルをされた <input type="checkbox"/> ラック・モール <input type="checkbox"/> 不意の衝突 <input type="checkbox"/> スクラム <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 (_____)			
衝突した対象	<input type="checkbox"/> 相手選手 <input type="checkbox"/> 味方選手 <input checked="" type="checkbox"/> 地面 <input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> その他 (_____)			
グラウンドコンディション	<input checked="" type="checkbox"/> 芝 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 人工芝 / <input type="checkbox"/> 固い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 柔らかい			

脳振盪の症状 (あてはまる症状に√/○をつける、√/○はいくつでも)

<input type="checkbox"/> A 意識消失	<input type="checkbox"/> B けいれん発作	<input type="checkbox"/> C バランスが悪い	<input type="checkbox"/> D 立ち上がれない	<input type="checkbox"/> E 混乱している
<input type="checkbox"/> F 見当識がない (場所や時間がわからなくなる)	<input checked="" type="checkbox"/> G ぼーっとしている、表情が乏しい	<input type="checkbox"/> H 吐き気		
<input type="checkbox"/> I 行動が変わった (感情的になる、いらだつ)	<input type="checkbox"/> J 健忘 (思い出せない)	<input type="checkbox"/> K 頭痛	<input type="checkbox"/> L 頸部痛	
<input type="checkbox"/> M 頸部圧迫感	<input type="checkbox"/> N 霧の中にいる感じ	<input type="checkbox"/> O ものがかすんでみえる	<input type="checkbox"/> P マドックの質問に答えられなかった	
<input type="checkbox"/> Q その他 (_____)				

症状を確認した人 (名前 _____) チーム関係者 レフリー
 ドクター トレーナー

受傷時の処置 (応急処置の内容を書き入れる)

練習終了後であったため
コーチが症状を聞き、まだ頭痛がある場合は、自宅から医者に行く事を勧める。翌日、まだスッキリせず、ぼーっとしているという事で受診する。

過去に受けた脳振盪の回数 0 最近はいつですか _____ (わかる範囲で記入して下さい)

この報告書は個人非特定のもと日本ラグビーフットボール協会の安全対策のための資料として使用されます。

平成 29 年 3 月 20 日改訂

以上